

5月号 かないや組クラスだよ

令和4年5月1日
第二ふたば園
かないや組

進級から1ヶ月が経ち、かないや組での生活にも慣れ、のびのびと過ごす姿がみられるようになってきました。チャレンジタイムや給食世界一周の取り組みなど、かないや組主体となって行っていく中で、かないや組になったという実感が強くなったことと思います。これからも様々な活動を通して、たくさんの経験を楽しんでいきます。

～5月のわらい～

- ★身の回りのことを一つ一つ確認しながら、園での生活リズムを取り戻していこう。
- ★散歩や遠足などで、動植物に触れ、興味関心の輪を広げよう。



～給食世界一周の取り組み～

毎月、給食世界一周の取り組みとして、様々な国の食・文化に触れていきます。

4月の給食世界一周は「メキシコ」でした。普段から保育室の本棚に入っている、世界の図鑑や国旗絵本を見ている子もいたところから「みんなでメキシコについて調べてみよう」という活動に発展し、グループに分かれて、それぞれ図鑑や絵本を見始めました。すると、「どこにあるんだ？」と日本地図を指差しなぞりながら必死に探す子や、「調べるって何すればいいんだろうね？」という声も聞かれたりして、難しい活動だったかなあと思いましたが、最後にはたくさんの「そうなんだ！」を見つけてことができました。メキシコ以外の国、世界にも興味を持つきっかけになったのではないかと思います。



☆幼虫さんが仲間入り☆

Sくんのお家から、カブトムシの幼虫を4匹預かり、かないや組で飼育することになりました。土の中に潜っているので普段はあまり見る事が出来ませんが、虫かごを持ちあげてのぞき込んだり、図鑑片手に観察したりとさっそく興味津々な子ども達です。男の子だけでなく女の子もお絵描き帳と色鉛筆を手に、絵を描き始めたりと興味を持っていました。飼育の仕方などみんなで考えながら、小さくても大切な命として、可愛がりながら飼育をしていきたいと思っています。



～見つけたよ、こんな姿～

ある日のお散歩中のことです。横断歩道を横断中に靴が脱げてしまった子がいました。保育者がすぐに駆け寄り「危ない！」と声を上げようとした時、後ろを歩いていたお友だちが、とっさに靴を拾って差し出すという、クールな連携プレーで無事横断することができました。

☆登園は歩きやすく、
サイズの合ったものをお願いします。

